

母性看護学

専門分野

授業科目	周産期の看護	講師	氏名	①内藤 直美 ②松本信一郎	開講 年次	単位・時間	
			所属	①専任教員 ②病院			
			実務経験	①臨床看護師 ②医師			
科目のねらい	マタニティサイクルにある母子やその家族を含めた看護の展開、ハイリスク妊・産・褥婦の看護における知識と技術の修得を目指す。						
到達目標							
知識・技術	1. 周産期の特徴を述べることができる。 2. 産・褥婦に必要な技術を実践できる。						
思考・判断・表現	1. 周産期の特徴を踏まえて、周産期看護を展開することができる。 2. ハイリスク妊産婦に対する予防的支援を理解できる。						
主体的学習態度	1. 主体的に学習し、講義、演習に参加することができる。						
科目評価	定期試験（筆記）（70%）、シミュレーション学習（15%）、ポートフォリオ提出（15%）合計100%						
テキスト	ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護 (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 (メディカ出版) 病気が見える vol.10 産科 (メディックメディア)						
参考文献	系統看護学講座 医学書院 母性看護学各論						
回数	教育内容	教育方法				関連科目	留意事項
		講義	演習	その他	講師		
1	分娩の生理	○			内藤 直美	リプロダクティブヘルスと看護 こころをみる小児の発達と看護 NICUの看護 こどもの病をみる 周手術期の看護	講義前に課題を提示します。事前に学習をした上で講義に参加して下さい。
2	産婦と胎児のアセスメント	○		○			
3	産婦のニーズと看護	○		○			
4	産婦の看護に関わる技術	○	○	○			
5	胎児の健康状態の観察	○					
6	分娩に向けた産婦の準備とケア	○		○			
7	妊・産・褥婦と家族の心理的变化	○		○			
8	産褥の生理(進行性・退行性変化)と看護	○					
9		○					
10	母乳育児と看護	○	○				
11	褥婦の看護に関わる技術	○	○				
12	妊娠疾患	○					
13	多胎妊娠、子宮外妊娠	○					
14	流産・早産	○					
15	分娩期の異常	○					
16		○					
17	帝王切開、産科処置	○					
18	産褥期の異常	○					
19～22	周産期における看護の展開 妊娠期・分娩期・産褥期	○			内藤 直美		事例を用いて看護展開をする。
		○					
		○					
		○	○	○			
23	まとめ	○					
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。						